

平成 24 年

青森県海面漁業に関する調査結果書

(属地調査年報)

青森県農林水産部

は し が き

青森県海面漁業に関する調査は、青森県統計調査条例に基づき22市町村を対象に毎月実施しているものです。

このたび、平成24年の本県における海面漁業の実態を魚種別、漁業種類別及び市町村別に、漁獲数量、漁獲金額について属地ベースでとりまとめましたので、結果書（年報）として公表します。

この結果書が水産行政のみならず広く一般に活用され、今後の本県における水産業振興上の基礎資料として役立てば幸いです。

おわりに、この調査の実施に際し、ご協力をいただきました関係各位に対し心から感謝を申し上げます。

平成25年3月

青森県農林水産部長 渋谷 義仁

目 次

調査の要領	1
-------	---

結果の概要	2
-------	---

対前年比較表

第 1 表	魚種別漁獲数量・金額比較表（対前年比）	10
第 2 表	魚種別漁獲数量・金額比較表（対 5 カ年平均比）	12
第 3 表	月別漁獲数量比較表	14
第 4 表	月別漁獲金額比較表	14
第 5 表	分類別漁獲数量比較表	15
第 6 表	分類別漁獲金額比較表	15
第 7 表	主な魚種別漁獲数量比較表	16
第 8 表	主な魚種別漁獲金額比較表	17
第 9 表	漁業種類別漁獲数量比較表	18
第 10 表	漁業種類別漁獲金額比較表	19
第 11 表	市町村別漁獲数量比較表	20
第 12 表	市町村別漁獲金額比較表	21

県計表

第 1 表	年 総 括 表	22
第 2 表	月 別 表	36

市町村計表

第 1 表	魚種別漁獲数量及び漁獲金額	42
第 2 表	漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額	66
第 3 表	月別漁獲数量及び漁獲金額	71

調 査 の 要 領

1. 調査事項

- (1) 魚種別漁業種別漁獲数量
- (2) 魚種別漁業種別漁獲金額

2. 調査時期

毎 月

3. 調査範囲

本県内に水揚げされたすべての海面魚介類（運搬魚介類を除く。）

4. 調査方法

調査員が担当区域内的の海面漁業協同組合、魚市場、その他の団体等を毎月巡回し、これらの団体等において作成した台帳等から資料を収集する方法

5. 利用上の注意

この調査は属地計上です。属地計上とは、生産物が水揚げされた地域に漁獲量等を計上することをいいます。

また、数値は四捨五入してあるので、各表や統計表中の構成比の和は 100%にならない場合があります。

結果の概要

1. 漁獲数量及び漁獲金額

(1) 概況

平成24年の青森県の漁獲数量は227,507トン、漁獲金額は442億7,179万円となった。これを前年と比較すると漁獲数量で33,242トン(17.1%)増加し、漁獲金額では18億4,629万円(4.0%)減少した(第1表)。

(2) 主な増減要因

漁獲数量が前年と比較して増加した主な要因は、平成22年夏季の陸奥湾で発生した異常高水温による、ほたてがいの大量へい死から、「ほたてがい(稚貝・半成貝・新貝・成貝)」の生産量が順調に回復したことによるものである。漁獲金額が前年と比較して減少した主な要因は、「するめいか(近海・生)」や「あかいか(近海)」の漁獲数量が減少したことによるものである。

(3) 過去5年間の平均との比較

過去5年間の平均と比較して、漁獲が好調であった魚種は「まいわし」(漁獲量対平年比625.4%)、「ぶり」(328.3%)、「こんぶ」(191.7%)、「ほたてがい(半成貝)」(122.6%)等であった。一方、漁獲が低調であった魚種は「さけ」(81.7%)、「ほたてがい(新貝・成貝)」(56.1%)、「あかいか(近海・海外)」(35.2%)等であった(第2表)。

(4) 過去10年間の平均との比較

平成24年の漁獲数量及び漁獲金額は、過去10年間の平均と比較すると数量で17.6%、金額で18.3%、それぞれ下回っている(図1、表)。

表 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

年次	漁獲数量		漁獲金額	
	数量(トン)	対前年増減率(%)	金額(百万円)	対前年増減率(%)
平成14年	327,486		58,461	
平成15年	281,057	△ 14.2	51,812	△ 11.4
平成16年	296,063	5.3	60,606	17.0
平成17年	289,662	△ 2.2	56,914	△ 6.1
平成18年	278,430	△ 3.9	54,675	△ 3.9
平成19年	295,695	6.2	57,217	4.6
平成20年	261,354	△ 11.6	53,171	△ 7.1
平成21年	289,027	10.6	51,187	△ 3.7
平成22年	246,690	△ 14.6	51,825	1.2
平成23年	194,265	△ 21.3	46,118	△ 11.0
平成24年	227,507	17.1	44,272	△ 4.0
平成14年～平成23年 までの平均 (A)	275,973		54,199	
平成24年／(A)%	82.4 %		81.7 %	

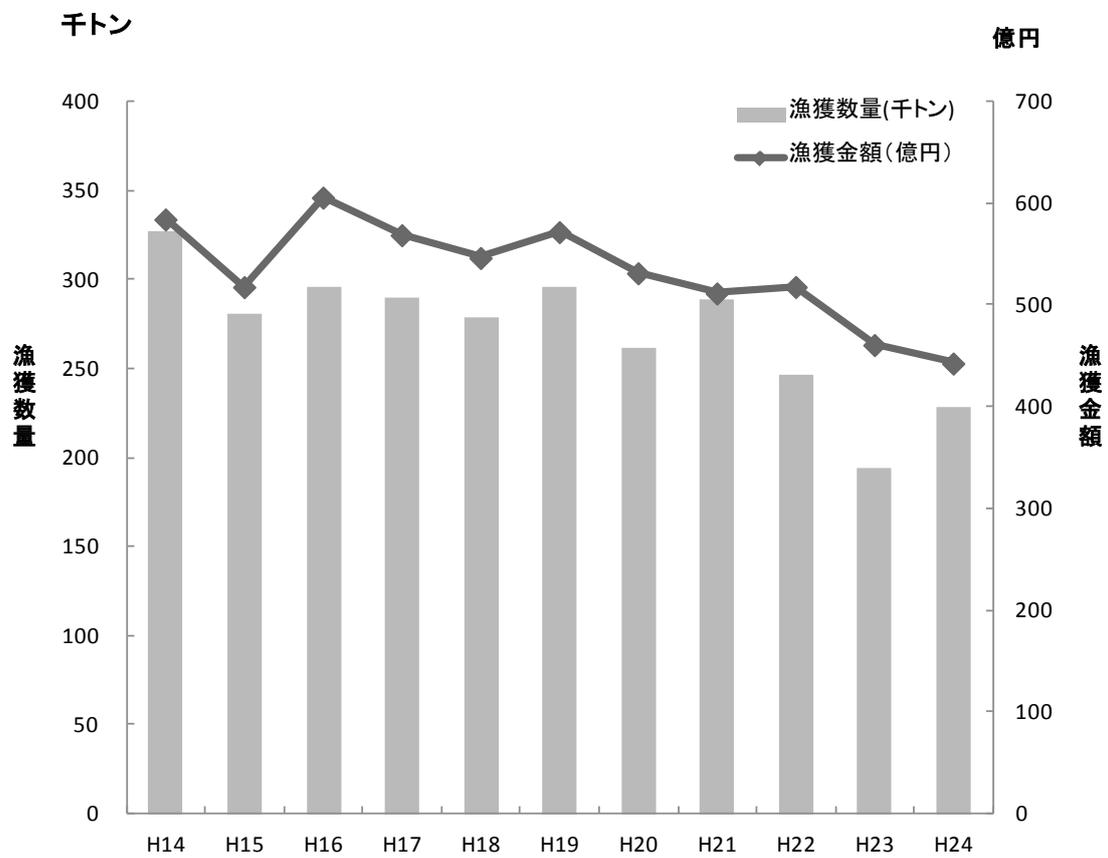


図1 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

2. 月別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 月別漁獲数量

平成 24 年の漁獲数量を月別にみると、8 月が 38,559 トンで最も多く全体の 16.9% を占め、次いで 7 月の 28,911 トン (12.7%)、9 月の 28,731 トン (12.6%) となっている (図 2、第 3 表)。

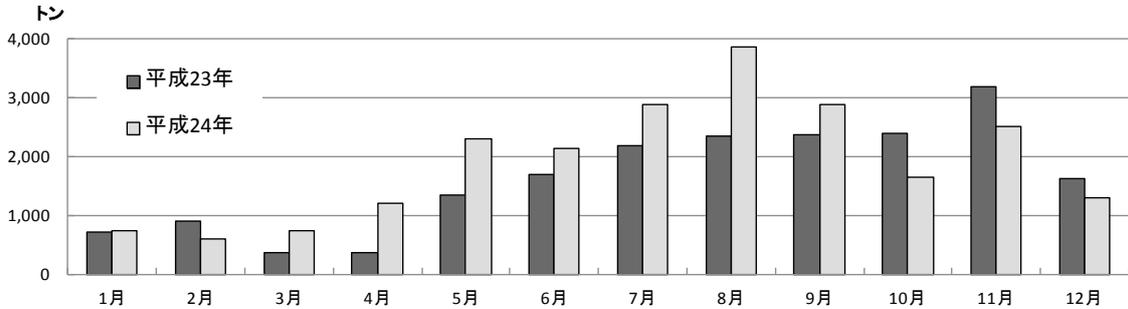


図 2 月別漁獲数量

(2) 月別漁獲金額

平成 24 年の漁獲金額を月別にみると、8 月が 63 億 6,382 万円で最も多く全体の 14.4% を占め、次いで 11 月の 61 億 4,353 万円 (13.9%)、12 月の 50 億 698 万円 (11.3%) となっている (図 3、第 4 表)。

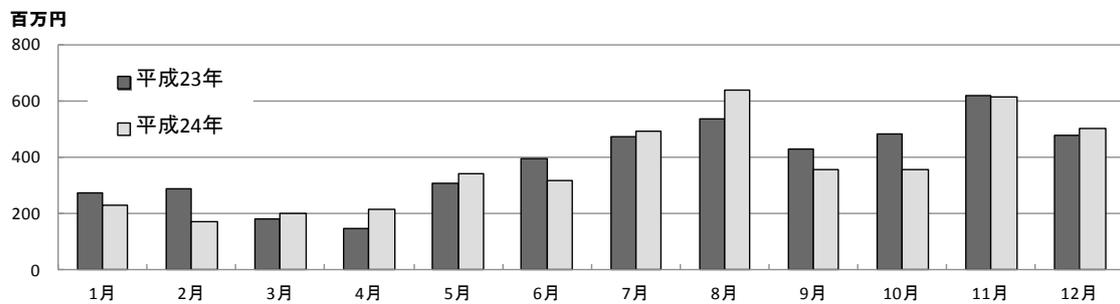


図 3 月別漁獲金額

3. 魚種別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 分類別漁獲数量及び漁獲金額

①分類別漁獲数量

漁獲数量について魚類、貝類等の分類別にみると、さば等の「魚類」が83,951トンで最も多く全体の36.9%を占め、次いでほたてがいが等の「貝類」76,895トン(33.8%)、「その他の水産動物」61,891トン(27.2%)、「藻類」4,771トン(2.1%)の順となっている。

これを前年と比較すると、「魚類」は387トン(0.5%)増加、「貝類」は43,221トン(128.4%)増加、「その他の水産動物」は11,553トン(15.7%)減少、「藻類」は1,188トン(33.2%)増加した(図4、第5表)。

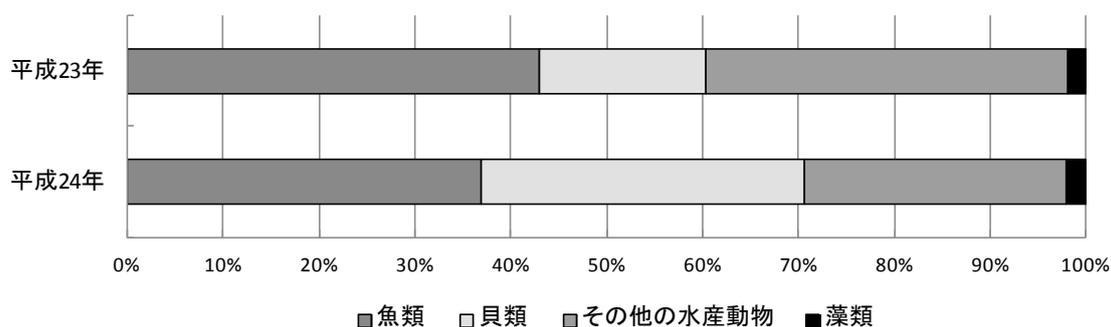


図4 分類別漁獲数量の構成比

②分類別漁獲金額

漁獲金額を分類別にみると、「その他の水産動物」が184億2,567万円で最も多く全体の41.6%を占め、次いで「魚類」157億9,909万円(35.7%)、「貝類」89億1,057万円(20.1%)、「藻類」11億3,646万円(2.6%)の順となっている。

これを前年と比較すると、「その他の水産動物」は35億6,501万円(16.2%)減少し、「魚類」は1億8,608万円(1.2%)減少し、「貝類」は17億3,681万円(24.2%)増加し、「藻類」は1億6,799万円(17.3%)増加した(図5、第6表)。

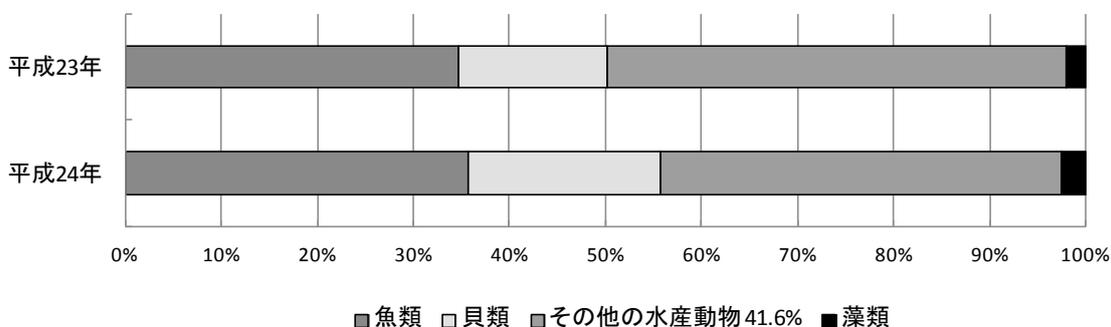


図5 分類別漁獲金額の構成比

(2) 主な魚種別漁獲数量及び漁獲金額

① 主な魚種別漁獲数量

主な魚種別の漁獲数量及び構成比をみると、「ほたてがい」75,870トン（構成比33.3%）、「するめいか」49,785トン（21.9%）、「さば」44,277トン（19.5%）、「ぶり」9,970トン（4.4%）、「あかいか」7,051トン（3.1%）、「すけとうたら」4,657トン（2.0%）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な魚種及び増加数量は「ほたてがい」43,332トン（対前年増加率133.2%）、「ぶり」7,186トン（258.2%）、「いわし類」2,117トン（49.9%）、「こんぶ」1,172トン（44.9%）となっている。

一方、漁獲数量が減少した主な魚種及び減少数量は「するめいか」7,528トン（対前年減少率13.1%）、「さば」7,386トン（14.3%）、「あかいか」3,528トン（33.4%）、「たら」1,084トン（24.1%）となっている（図6、第1表、第7表）。

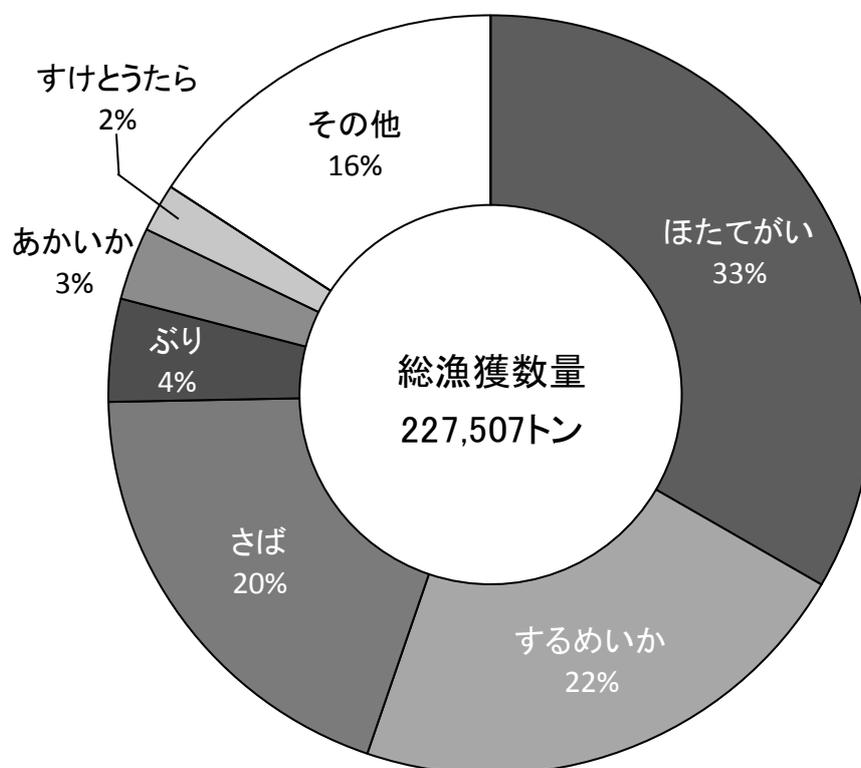


図6 主な魚種別漁獲数量の構成比

②主な魚種別漁獲金額

主な魚種別の漁獲金額及び構成比をみると、「するめいか」116億1,234万円（構成比26.2%）、「ほたてがい」83億7,026万円（18.9%）、「さば」41億4,696万円（9.4%）、「なまこ」27億2,308万円（6.2%）、「まぐろ」24億2,542万円（5.5%）、「あかいか」15億3,552万円（3.5%）などとなっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な魚種及び増加金額は「ほたてがい」19億6,169万円（対前年増加率30.6%）、「ぶり」7億3,780万円（158.8%）、「こんぶ」2億4,225万円（39.5%）、「たこ」1億6,538万円（31.7%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な魚種及び減少金額は「するめいか」20億8,229万円（対前年減少率15.2%）、「あかいか」9億7,105万円（38.7%）、「たら」4億7,161万円（34.4%）、「さば」2億8,091万円（6.3%）、「なまこ」7億309万円（20.5%）などとなっている（図7、第1表、第8表）。

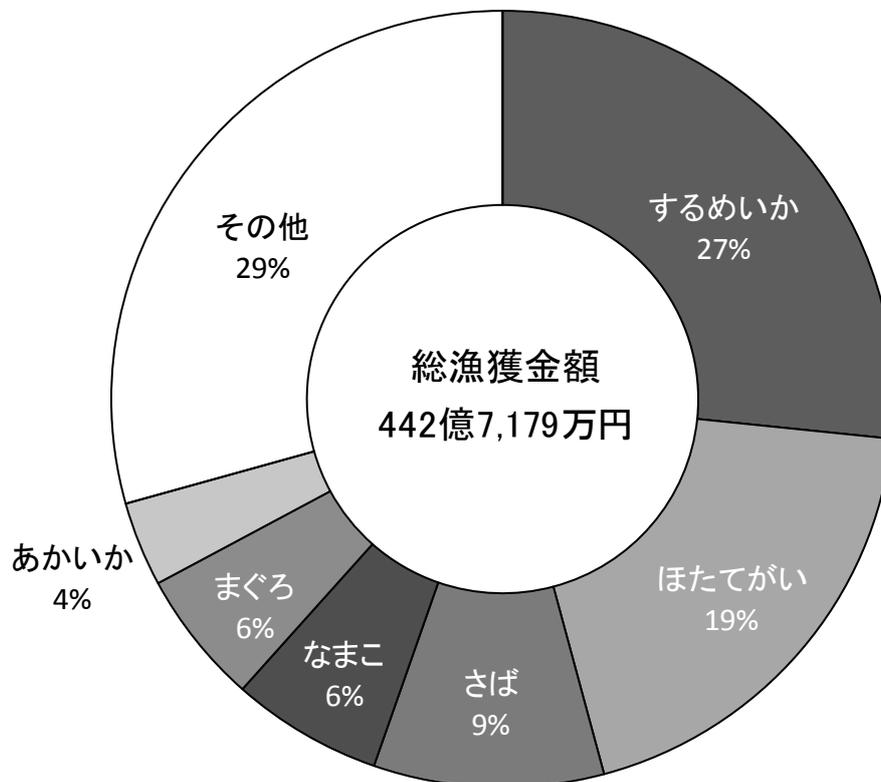


図7 主な魚種別漁獲金額の構成比

4. 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 漁業種類別漁獲数量

漁業種類別漁獲数量の構成比をみると、「養殖業」が全体の 33.4% (76,040 トン) で最も多く、次いで「まき網漁業」28.3%、「いか釣漁業」17.4%となっている。

これを前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な漁業種類及び増加数量は、「養殖業」43,318 トン (対前年増加率 132.4%)、「まき網漁業」3,206 トン (5.2%)、「採藻漁業」1,164 トン (32.9%) などとなっている。

一方、漁獲数量が減少した主な漁業種類及び減少数量は、「沖合底曳網漁業」6,686 トン (対前年減少率 27.7%)、「いか釣漁業」5,652 トン (12.5%) などとなっている (第9表)。

(2) 漁業種類別漁獲金額

漁業種類別漁獲金額の構成比をみると、「いか釣漁業」が全体の 23.2% (102億7,127万円) で最も多く、次いで「養殖業」19.0%、「まき網漁業」13.5%となっている。

これを前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な漁業種類及び増加金額は、「養殖業」19億4,725万円 (対前年増加率 30.1%)、「まき網漁業」5億6,054万円 (10.3%)、「採藻漁業」1億6,170万円 (16.9%) などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な漁業種類及び減少金額は、「いか釣漁業」20億1,924万円 (対前年減少率 16.4%)、「沖合底曳網漁業」12億2,583万円 (25.5%)、「底建網漁業」2億8,854万円 (16.0%)、「刺網漁業」2億4,968万円 (10.1%) などとなっている (第10表)。

5. 市町村別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 市町村別漁獲数量

市町村別漁獲数量の構成比をみると、八戸市が111,764トンで最も多く全体の49.1%を占め、次いで平内町16.2%、青森市5.4%、外ヶ浜町4.8%、東通村3.8%の順となっている。

次に、市町村別漁獲数量を前年と比較してみると、漁獲数量が増加した市町村は、平内町16,750トン（対前年増加率83.5%）、青森市10,050トン（436.2%）、外ヶ浜町6,494トン（144.5%）ほか11市町村となっている。

一方、漁獲数量が減少した市町村は、八戸市8,779トン（対前年減少率7.3%）ほか7市町村となっている（図8、第11表）。

(2) 市町村別漁獲金額

市町村別漁獲金額の構成比をみると、八戸市が175億7,405万円（対前年増加率39.7%）で最も多く全体の39.7%を占め、次いで平内町10.8%、むつ市7.1%、東通村6.7%、深浦町5.5%の順となっている。

次に、市町村別漁獲金額を前年と比較してみると、漁獲金額が増加した市町村は、青森市6億8,590万円（対前年増加率91.2%）、外ヶ浜町4億7,695万円（31.6%）、大間町2億6,825万円（16.9%）、横浜町2億71万円（21.3%）、野辺地町1億3,472万円（24.2%）ほか5市町村となっている。

一方、漁獲金額が減少した市町村は、八戸市22億1,797万円（対前年減少率11.2%）ほか11市町村となっている（図9、第12表）。

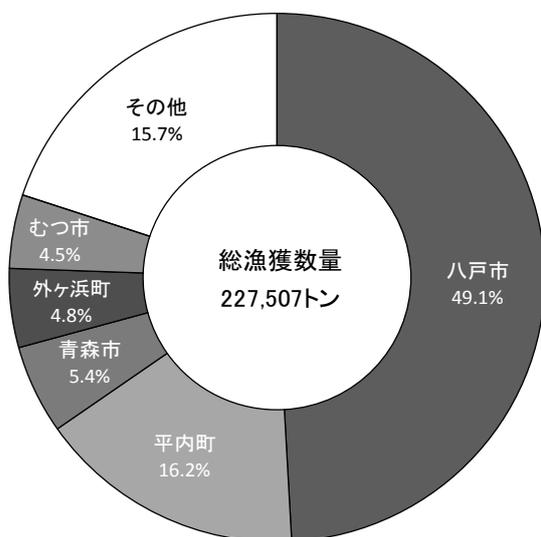


図8 市町村別漁獲数量の構成比

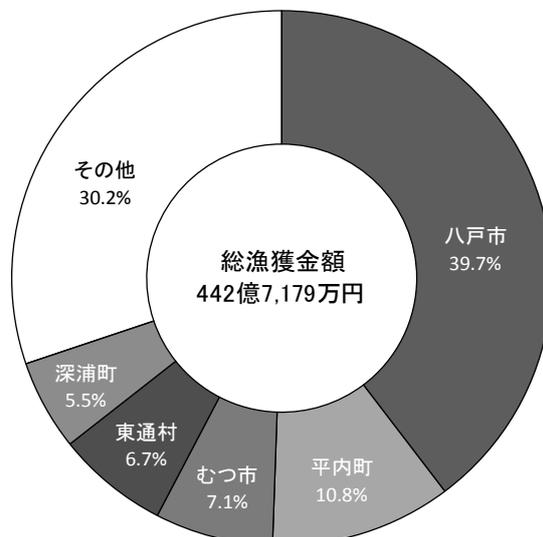


図9 市町村別漁獲金額の構成比